

令和6年度 第1回京都府立図書館協議会 議事要旨

1 開催日時

令和6年7月11日（木）15時00分から17時00分まで

2 場所

京都府立図書館（京都市左京区岡崎成勝寺町）

3 出席者

明致親吾委員、安達佳代子委員（zoom参加）、荒田和子委員、梅本恵子委員、大塚正広委員、桂まに子委員、潮江宏三委員、永田紅委員、原田隆史委員（会長）、松下亜樹子委員、

4 会議の内容

- （1）令和5年度取組に係る内部評価について
- （2）令和6年度事業計画について

5 協議事項

- （1）令和5年度取組に係る内部評価について
 - 事務局から概要について資料に基づき説明
 - 委員意見
 - ・市町図書館が悩んでいることに応えられるような分析を行っていただきたい。
 - ・市町村支援が定着してきたことは評価できる。
 - ・電子書籍の小学校へのID配布は良い取組だが調べ学習に資する資料の充実が求められる。
- （2）令和6年度事業計画について
 - 事務局から概要について資料に基づき説明
 - 委員意見
 - ・市町村図書館の職員に対するレファレンスや本の修理についての研修はとても有効的であるので引き続きお願いしたい。
 - ・令和6年度事業計画の90%が令和5年と同じとなっている。令和6年度として新たにに取り組むことを検討すべき。
 - ・府立図書館の立地は良い。X（旧Twitter）の300以上の投稿も素晴らしい。「府民だより」の「大人の夏を図書館で」記事が良かった。「府民だより」にイベントの告知や館内見学会も掲載してはどうか。旧館の家具や外壁を結婚写真の前撮りに利用しても良いと思う。
 - ・電子書籍の成果は出ている。紙の書籍の貸出は減少しているが、1人1台端末を持つ子供の書籍離れの突破口になるかもしれない。
 - ・文化庁と連携する事業があっても良い。
 - ・ナレッジベースで展示の利用が多い。他の機関との交流や連携にも使っていくべき。

- ・過去の協議会で貸出数を評価の指標にしないことを確認していた。電子書籍については利用件数を評価、目標とする段階ではない。貸出数のデータは協議会の資料に示すべき。
- ・目標になっていないから数値を示さないということではなく評価についての考え方が重要。
- ・図書館利用のPRに努めてほしい。報道機関と連携すること。本や読書に関する講演会も開催してほしい。
- ・重点目標は目新しさが伝わりにくい。府立図書館がどちらの方向を向いているのかが、分かり、重点項目を見れば何か新しいことが起こるのか、と期待されるような計画を立ててほしい。今まで続けてきた事柄は良いものであり、良い評価がなされている。目標の立て方を工夫してほしい。
- ・大学との連携サービスデザインチームを作って、大学生のアイデアから広げられたらどうか。巡回している大学との連携はどうか。